

産建文教常任委員会

学校給食 — 民間委託を開始 —

6月10日に委員会が開催され、「学校給食調理等業務委託事業」について、共同調理場を視察し、状況の説明を受けた。

行政コスト削減と地域経済の活性化、地域農産物のさらなる活用をはかるため、4月から調理等業務の民間委託を開始した

●委託事業者

一般財団法人 白鷹町アルカディア財団

●委託期間

平成28年4月1日～平成31年3月31日

●委託する業務の内容

- ◇食材の調達
- ◇調理業務
- ◇配送業務
- ◇食器洗浄業務等

※献立作成、調理の指示、検査等は栄養教諭が行う。

●調理・配送従事者

・従事者数 14人



時間が勝負（共同調理場）

●業務の実施状況

調理技術・衛生管理は順調に行っている。4月に配送時間の遅れがあったが、作業工程の見直しで改善した。

質疑

白鷹産食材の調達は
委員 町内産食材の調達はどのよう行うのか。
当局 栄養教諭が発注先の業者と、どのような食材が確保できるか調整したうえで献立の予定を組み、委託事業者に指示書を出す。

「紅花摘み」観光ツアーで誘客ねらう

「日本の紅（あか）をつくる町連携推進事業」について説明を受けた。

●取り組み方針

- ◇生産拡大 紅花の品質確保をはかり、生産体制の強化、拡大を進める。
- ◇高付加価値化 企業や大学との連携でブランド化をはかり、知名度と付加価値を高める。
- ◇観光事業 「紅花摘み」観光などの体験プログラムをつくる。
- ◇交流人口の増加 情報発信によりイメージ戦略を展開し、交流人口の増加をはかる。

質疑

赤くない農産物は

委員 他の農産物は、どのように「紅（あか）」

平成28年度の主な事業

①観光誘客や市場調査など	250万円
②会議や学習会、各支援事業など	463万円
③新商品やコラボ商品の開発支援など	50万円
④ツアーの造成や体験プログラムの実施など	100万円
⑤宣伝や案内看板の作成など	370万円
⑥シラタカレッド関連商品のルール化による白鷹産農産物のPRなど	270万円
⑦四季を通じての観光立地など	1,000万円
⑧情報発信力の充実強化事業	500万円
⑨事務費	47万円

の事業に関連づけし、消費の拡大につなげるのか。

当局 まずは紅花のイメージで町の話題を作りたい。それぞれの農畜産物の取り組みは今までどおり支援したいと考えている。

その他
○アルカディア財団の経営状況

○企業誘致・受注拡大とサテライトオフィスの状況
○スクールバス車庫整備事業
○生涯学習振興計画

などについて説明があった。